

龍谷大学物質化学科 内田 欣吾 教授のコーディネートにより、ドイツ ブルツブルグ大学 Matthias Lehmann 教授をお招きした研究講演会を開催します。

Lehmann 教授は、液晶を中心にして有機材料の研究をしており、液晶の分子設計では世界を代表する研究者であり、*Angew. Chem.* 等に多くの論文を発表しておられます。この度、台湾で開催される 3rd Asian Conference on Liquid Crystals に来られた際に、日本に立ち寄られ東京と関西で講演をされます。関西では、大阪大学と龍谷大学でのみ講演会が行われます。

Lehmann 教授は、液晶場を利用し、機能性をもった分子を規則正しく並べ、LED や電界効果トランジスター、太陽電池などへの応用を研究されておられます。今回は、V 字形の分子を並べた液晶材料の作成と機能について講演して頂きます。

折角の機会ですので、ぜひ、ご参加ください。

日時：2月20日（月） 10:00-10:50

場所：3号館105号室

演題： Generation of Void with Shape-Persistent Mesogens - Benefit or Malediction for the Formation of Liquid Crystals?

その他：講演は英語で行われます。

Matthias Lehmann 教授HP：

[http://www-organik.chemie.uni-wuerzburg.de/lehrstuehlearbeitskreise/mlehmann/matt\\_hias\\_lehmann/](http://www-organik.chemie.uni-wuerzburg.de/lehrstuehlearbeitskreise/mlehmann/matt_hias_lehmann/)